



第62回日本周産期・新生児医学会学術集会
ランチョンセミナー16

RSウイルス母子免疫ワクチン接種の意義と 定期接種化による今後の展望

日時

2026年 7月13日(月)
12:30～13:30

会場

第9会場

パシフィコ横浜 会議センター 4F「416+417」
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

座長

和田 誠司

先生

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター長

乳児RSウイルス感染症 重症化予防新時代を迎えて

演者

飛弾 麻里子

先生

さいたま市立病院
周産期母子医療センター所長 兼 小児科(新生児)部長

RSV母子免疫ワクチン 定期接種化による今後の展望

演者

小谷 友美

先生

浜松医科大学 産婦人科学講座 教授

【本学術集会のランチョンセミナーは整理券制です】
配布時間・場所につきましては、学術集会Webサイトをご確認ください。
<https://www.congre.co.jp/jspnm2026/>

ご参加の皆様には、お弁当をご用意しております(数に限りがあります)